



内容解説資料

文部科学省検定済教科書
中学校社会科用
17教出 地理702

中学社会
地理
地域にまなぶ

geography

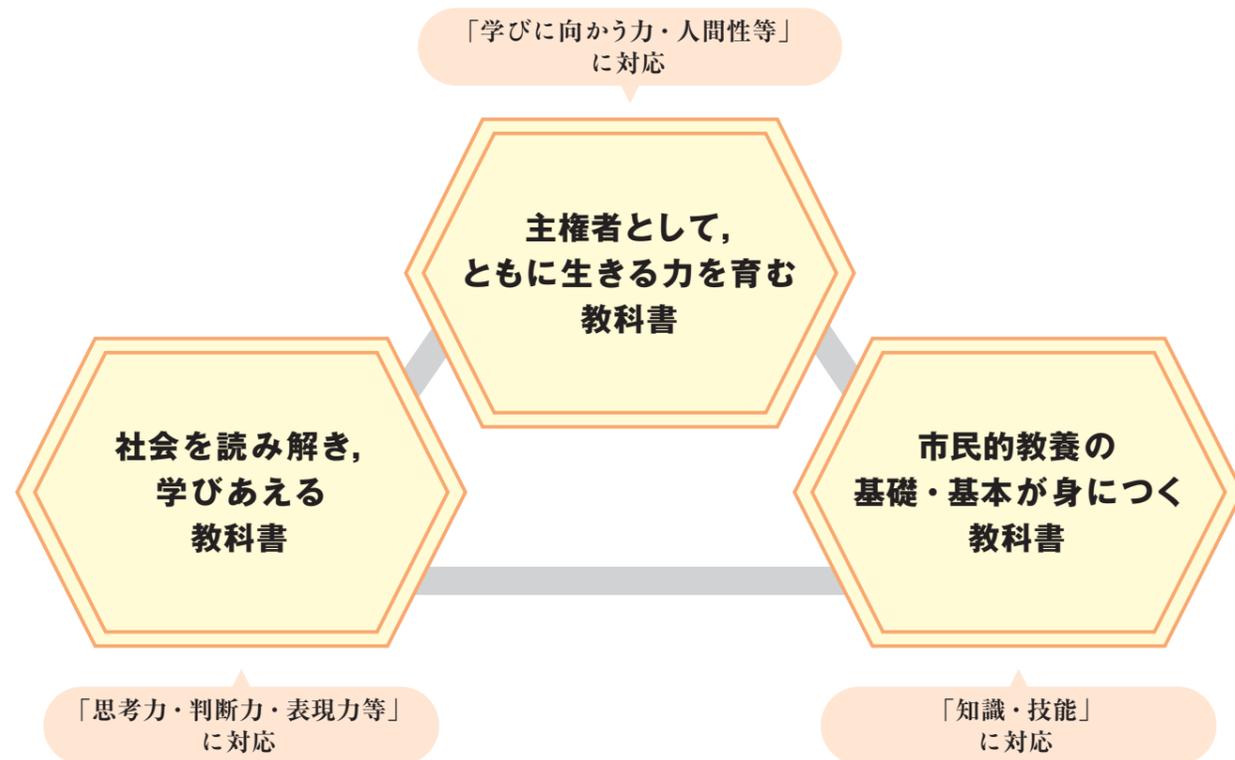
学校だけでなく、 “家でも楽しめる”教科書を

小学校から中学校へ進学すること、それは生徒にとってとても不安なことだと思います。一時間目の授業の助けになればと、平成28年度版教科書に、写真から場所を推理するクイズを掲載したページを作ってみました。すると、「これはどこの写真？ 答えはどこにあるの？」という高齢者からのお問い合わせが…。自宅に教科書を持ち帰った孫と写真について話が弾んだとお話、少し意外でした。生徒と先生の間だけでなく、「家でも楽しめる教科書」。これを今回の教科書作りのテーマの一つに据えて、単元の導入に学習していく場所の写真を多く掲載したページを新設しました。生徒と先生、さらに生徒と保護者や地域の方々が、この地理の教科書を通じて、さまざまな結びつきやつながりを深めることができると考えました。

中学時代は、地域から徐々に生徒の活動範囲や世界観が広がっていく時期といえるでしょう。地理の教科書が未来へのガイドブックになってくれたらと期待しています。

社会科で育てたい生徒の姿と、教科書作成の三つの基本方針

【育てたい生徒像】 持続可能な社会を創造する市民の育成



特に「地理」の教科書では、“主権者”として社会に参画していくための知識や態度の育成を重視し、多文化共生と持続可能な社会の創造に向けて、社会と関わり続ける意欲を高める学びの実現を目指しました。

◎ 代表者のメッセージ

グローバル化時代を生きる地理学習



現代はグローバル化の時代である。私たちの生活は外国とのつながりなしには成り立たない。他方、深刻化・複雑化する国際紛争や経済格差は、大量の難民や移民を生み、国家間の人口移動を加速させている。グローバル化時代を生きる中学生には、地球規模で生起する問題を自分事として捉え、問題解決に向けて主体的に関わっていく資質や能力が求められるだろう。そこで地理的分野では、第一に、現代世界を読み解く上で必要な基礎的・基本的な知識・理解事項を明確にし、確実に習得できるようにした。第二に、問題を多面的・多角的に捉える視点を重視し、現代世界のダ

イナミックな動向と多様性を学べるようにした。第三に、身近な地域（日本）で生起する問題と世界で生起する問題の往還的思考を促し、問題の構造的理解と解決に向けた広い視野を獲得する学習過程を重視した。地理的分野の教科書を十分に活用して、生徒たちが現代社会の抱えるさまざまな問題について自ら考え、判断し、内外の多様な人々とつながり、協働する力を獲得して欲しいと願っている。

たけうち ひろかず ちば
竹内 裕一（千葉大学教授）

「中学社会 地理」の三つの特色

1 ともに学ぶ力・深く学ぶ力を育む 内容構成の工夫

授業1時間ごとの見通し・振り返りに加えて、節・章といった学習のまとまり（単元）ごとにも見通し・振り返りを設けて、学習してきたことが定着するように工夫しています。また、本時の学習をサポートする各種のコラムによって、知識・技能とともに、「見方・考え方」を働かせる力が身につき、学習が深まります。

2 持続可能な社会の実現に向け、 課題解決に取り組むことができる内容の充実

責任ある主権者として社会に関わっていこうとする意識が身につくような教材を、多数掲載しています。身近な地域や伝統文化、SDGs、領域をめぐる内容など、社会科として外すことのできない学習項目について、実生活や最新の話題と関連付けてわかりやすく取り上げ、自分事として考える力が身につきます。

3 学びを広げる・つなげる・深めるための 紙面・内容の工夫

防災などの学習では、各分野の学習のみならず、分野間の連携を図ることで中学校社会科としての総理解を深めます。また、小学校や高等学校との連携をしっかりと教科書内に明示することで、見通しをもった学習の実現に寄与します。加えて、ユニバーサルデザインやグラビア資料ページなど、生徒の学びを支援し、意欲を引き出す多彩な工夫が、授業だけでなく自学の場面でも学びを支えます。

目次

特色1

ともに学ぶ力・深く学ぶ力を育む
内容構成の工夫 …………… 2

1 見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成 …… 2

2 思考・判断・表現する場面を位置づけた、
学習の流れがわかりやすいページ構成 …………… 4

3 資料の活用や「見方・考え方」を働かせた
学びを支援する学習コーナー…………… 6

特色2

持続可能な社会の実現に向け、
課題解決に取り組むことができる内容の充実 …………… 8

1 主権者として社会に参画する意識を
高めることができる教材・内容 …………… 8

2 社会的な課題を多面的・多角的にとらえ、
考察することができる教材・内容…………… 10

3 身近な地域から社会を考えることができる教材・内容 …… 12

特色3

学びを広げる・つなげる・深めるための
紙面・内容の工夫 …………… 14

1 3分野の学びを関連させ、社会をより深く
理解することができる内容・構成…………… 14

2 小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを
意識した内容・構成…………… 16

3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫…………… 18

授業を支える教師用指導書と周辺教材のご紹介 …………… 20

著作者の紹介…………… 裏表紙



見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成

内容のまとめりごとの見通し・振り返りの学習場面をいっそう充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現しやすい構成にしました。一連の学習活動を通じて、より深い理解を促すことができます。

1 章・節の学習を見通す「導入ページ」 p.48-49
章・節の学習を見通す導入ページ。新鮮な驚きを感じるような写真から生徒の興味・関心を喚起します。学習内容についてイメージを膨らませることができる写真中心のページで、学びのきっかけを作ります。

1 アジア州 学習テーマ アジアでは、なぜ経済が発展したのだろうか。

この節では、アジアのさまざまな地域の特色を地域ごとに大きくとらえながら学習を進めていきます。経済が発展していくことにより、暮らしにどのような変化があらわれてきたのでしょうか。多様なアジアの経済発展に着目して、アジアの特色を学習しましょう。

1 導入ページ

学習のまとめと表現 アジア州の学習を振り返って整理しよう

ワードチェック

- ① 次にあげたアジアで学習してきた言葉が説明できたら、□に印を入れよう。
- 植民地
- 発展途上国
- 季節風(モンスーン)
- アジアNIES(新興工業経済地域)
- 「一人っ子政策」
- 少数民族
- シルクロード
- 経済特区
- ブランテーション
- 東南アジア諸国連合(ASEAN)
- 穀倉地帯
- 情報通信技術(ICT)産業
- 産油国
- 石油輸出国機構(OPEC)
- レアメタル

4 学習のまとめと表現ページ

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

学習のまとめと表現の流れ

ワードチェック

地図を使って確かめよう

表現しよう

意見を交換しよう

4 章・節の学習を振り返る「学習のまとめと表現ページ」 p.65
章・節の最後に設けられて、学習内容が身についたかをチェックできると同時に、基礎・基本の定着が図れます。学習の振り返りとして、語句のチェック、地図上の場所や位置の確認、自分の言葉でまとめて表現する活動、意見を交換する活動を行い、段階的に学習を深めていくことができます。



5 変わる産業と貿易
学習課題 東南アジア各国の人々の暮らし
見通しを示す「学習課題」
これから1時間の学習で何について追究していくのかを明確にします。

5 変わる産業と貿易 結びつきを強める東南アジア
学習課題 東南アジア各国の人々の暮らしは、経済発展によってどのように変わってきたのでしょうか。

2 本時ページ

3 特設ページ
シンガポールはいま 熱帯にある都市国家
シンガポールは、東南アジア諸国連合(ASEAN)加盟国の中で第一の経済力を持ち、東南アジアの貿易・金融の拠点として、世界から注目を集めています。世界の人々や企業が注目するシンガポールの魅力とは何か、考えてみましょう。

2 本時ページ

3 特設ページ
シンガポールはいま 熱帯にある都市国家
シンガポールは、東南アジア諸国連合(ASEAN)加盟国の中で第一の経済力を持ち、東南アジアの貿易・金融の拠点として、世界から注目を集めています。世界の人々や企業が注目するシンガポールの魅力とは何か、考えてみましょう。

3 特設ページ

3 特設ページ
シンガポールはいま 熱帯にある都市国家
シンガポールは、東南アジア諸国連合(ASEAN)加盟国の中で第一の経済力を持ち、東南アジアの貿易・金融の拠点として、世界から注目を集めています。世界の人々や企業が注目するシンガポールの魅力とは何か、考えてみましょう。

3 特設ページ

3 視点を改めて学習内容を捉えなおす「特設ページ」 p.64
世界地誌(世界の各州)や日本地誌(日本の7地方)の学習の事例を基に、さらに一歩進んで、今日的な課題に迫る特設ページを設けました。個人またはグループで学習を深めることができます。ページ最後に設けた「Q」も学習を深めるのに役立ちます。

確認! 東南アジア諸国連合の加えて、表にまとめよう。
表現! 資料4を参考に、輸出からどのように人々の暮らしが変化したか、まとめよう。
【確認】: 本時で学習したことを確認し、整理します。
【表現】: 学習したことを活用し、自分の言葉で表現することから、深い学びを導きます。

2 「本時ページ」 p.58-59
見開き2ページ=1時間の構成で、見開きごとに「学習課題」(学習の見通し)と、「確認/表現」(振り返り)を設け、生徒の主体的な学習を促します。

2 思考・判断・表現する場面を位置づけた、学習の流れがわかりやすいページ構成

見開き2ページ=1時間の授業展開で学習の見通しを立てやすい、本文と資料のバランスを考えた紙面です。生徒が自ら学べるよう、資料を読み解く手がかりも示しています。

1 1時間の学習を見通す「導入」

生徒の興味・関心を高め、学習のきっかけとなる写真・地図などを導入に位置づけました。**キャラクターの言葉**や「LOOK!」は、導入資料をサポートします。

キャラクターの言葉

導入資料の見方のヒントになります。

LOOK!

導入資料を解説することで、先生の授業を助け、生徒の自学自習にも役立ちます。

2 学習課題?

学習内容を自分事としてとらえる

タイトルには、学習内容についてイメージを膨らませる**主題**、学習事項を端的に示した**副題**を明示しました。**学習課題**では、この1時間の授業の見通しをわかりやすく示し、学習意欲を高めます。

資料番号 1, 2, 3...

本文と資料の関連を番号で示しています。本文を読みながら資料を結びつけることができ、学習が深まります。



1 ヨーロッパの国境の様子 (2017年 ドイツ・フランス) 2 ヨーロッパの統合の進展 加盟国がどのように拡大したか、確認しましょう。

LOOK!

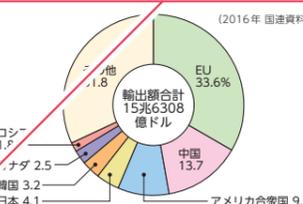
国境には通常は検問所があり、パスポートがない隣の国に行くことができません。しかし、ドイツとフランスの間では人々が自由に行き来しており、国境を越えて毎日通勤している人もいます。隣の国のスーパーの品物のほうが安い時には、気軽に買い物に出かけます。

2 ヨーロッパの統合とその課題 ▶ 人やものの自由な移動

学習課題 統合が進むことで、ヨーロッパの人々の生活にどのような変化が起きているのでしょうか。

1958年	ヨーロッパ経済共同体 (EEC) 発足
1967年	ヨーロッパ共同体 (EC) 発足
1993年	ヨーロッパ単一市場発足 ヨーロッパ連合 (EU) 発足
1995年	域内での人の移動の自由化
1999年	単一通貨ユーロの導入
2002年	ユーロ紙幣・硬貨の流通開始
2004年	EU拡大、加盟25か国に
2007年	EU拡大、加盟27か国に
2013年	EU拡大、加盟28か国に
2016年	イギリスが国民投票によりEU離脱を選択

3 ヨーロッパの統合の歴史



4 世界の貿易に占めるEUの割合

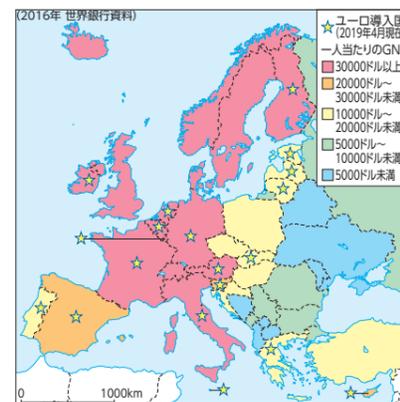
3 読んでわかる、授業しやすい「本文」

読みやすく、わかりやすい文章で、生徒の社会的事象への理解を深めます。生徒が「わかる」記述は、授業中はもちろん、自ら学ぼうとする場面でも、基礎・基本の定着にも役立ちます。

4 読み解こう

思考・判断・表現する力を育む「読み解こう」

本文の流れに即し、資料を丁寧に読み解きながら考察する学習を重視しました。写真・地図・グラフなどの多様な資料の読み解きについて、問いを手がかりに取り組みことができ、資料を活用して考え、まとめる力の養成に役立ちます。



5 EUと周辺各国の一人当たり国民総所得

由に国境を越えることができます。また、多くの国ではEUの共通の通貨である**ユーロ**が使えるため、国境を越えた買い物や旅行がとても便利になりました。さらに、加盟国からの輸入品にかかる税金をお互いになくしたことにより、EU内の貿易も活発になっています。

移動する人々と地域格差 西ヨーロッパほど経済的に豊かでない東ヨーロッパの国々が加盟したことにより、EUの中での経済的な地域格差が問題となっています。西ヨーロッパの先進国などから東ヨーロッパへと、企業が進出していますが、いまだに西ヨーロッパの国々との間には大きな所得の格差がみられ、高い賃金が得られる西ヨーロッパの国々に多くの人が働きに出ています。そのため、西ヨーロッパの主な都市では、東ヨーロッパなどから国内に流入する人々が増えたことにもともない、失業する人も多くなっており、EUの統合に反対する人々もいます。

地理の窓 イギリスのEU離脱問題

西ヨーロッパの先進国は、EUの活動のために多くの資金を出しています。それらの資金を使ってEUの中の開発が進んでいる国々への経済的な支援が行われてきました。そのため、これらの先進国では、自分たちの国の出したお金が他国のために使われることに反対する人々が増えています。例えば、イギリスでは2016年の国民投票でEUからの離脱が決まり、現在もEUとの間で離脱のための話し合いが続けられています。

6 関連 地理だけでなく、歴史・公民との関連ページを示した「関連」

地理の学習内容について、他ページでの学習との関連を表示することはもちろん、歴史的分野・公民的分野についても関連する箇所を示しました。他分野との関連箇所を意識させることで、学びが繋がっていることに気づき、本時の学習がより深まります。(→本資料p.14~15参照)

読み解こう

- EU加盟国とそれ以外の国の、一人当たり国民総所得の違いをまとめよう。
- EU加盟国の中で、一人当たり国民総所得が低い国は、どの地域に多いか書き出して、気づくことをあげよう。

5 本時の振り返りとして、②の学習課題と対応させた「確認」と「表現」

この時間で学習したことを基に、「確認」では基礎的な事項の確認と整理、「表現」では地理的事象や課題などに関する説明や話し合いなどの表現活動と、段階的に振り返りながらまとめることができ、学習が深まります。

確認!

本時の学習の中で、重要な語句などに着目しながら、基礎的な事柄をしっかりとおさえます。

表現!

本時の学習を振り返り、言葉で表現したり、対話したりすることで深い学びにつながります。



6 空港のパスポートチェック (2017年 ポルトガル・リスボン)

EU加盟国の人々には専用の出入口があり、検査を受けずに入国できるので、長い行列に並ぶ必要がありません。

読み解こう

- EU加盟国とそれ以外の国の、一人当たり国民総所得の違いをまとめよう。
- EU加盟国の中で、一人当たり国民総所得が低い国は、どの地域に多いか書き出して、気づくことをあげよう。



7 ユーロ紙幣と硬貨

確認!

ヨーロッパで各国が協力する動きを強めた理由を書き出そう。

表現!

統合が進み、国境を越えた交流が広がることについて、長所と短所をまとめよう。



3 資料の活用や「見方・考え方」を働かせた 学びを支援する学習コーナー

本時の学習を出発点とし、生徒の興味・関心が広がり、学習意欲が高まる学習コラムを設けました。地理的な技能が着実に定着し、「見方・考え方」を働かせた学びが身につきます。

第1編

全部で51もの 学習コラムが 本編を 支えます。

第1編		第2編	
地球番地、33番地	13	ケニアのバラはどこに行く?	87
パスポート(旅券)	19	南アフリカ共和国と	
標準時について考えよう	21	アパルトヘイト	89
日本の最南端をめぐる問題	23	カナダの森林	97
星のささやき	31	ラストベルトとよばれる地域	99
宗教をめぐる共存と対立	45	ハリケーン被害と差別	103
分断された朝鮮半島	53	アンデス山脈の恵み	
生活の変化	55	～高山都市と食文化	109
化する環境問題	57	サッカーとブラジル社会	111
に暮らす人々	59	サモアの人々の暮らし	121
グラデシユの社会問題	61	先住民と共に暮らす社会	123
アラビアのイスラム教徒	63	ツバルの人々の暮らしと危機	125
キリスト教に基づく文化	69	災害図上訓練で地域を知る	143
イギリスのEU離脱問題	71	地域区分して特色をみつけよう	149
ヨーロッパの食文化	73	日本で地震が多いのはなぜか	151
工業を支える交通ネットワーク	75	川の地形と液状化現象	159
原子力発電をめぐる各国の対応	77	釜石の津波防災教育の	
ウクライナ問題	79	取り組みに学ぼう	161
独立後の歩みと国づくりの努力	85	工夫してシラスを生活に生かす	179
		循環型農業を旨として	181
		地域おこし協力隊の活動	195
		世界文化遺産と観光都市	207
		震災の教訓に学ぶ	209
		千里ニュータウンの老朽化と対策	211
		生態系も危ない	213
		発展・変化してきた工業	221
		遠洋漁業の課題	223
		観光地の抱える課題	225
		東京湾の臨海部の再開発	235
		防災に強い都市を旨として	237
		情報を生かした産業	241
		東北地方の中心都市 仙台市	253
		残された自然を守る	263
		豊かな森が昆布を育てる	267
		映画の舞台になった北海道	269

▲ p.5 学習コラム(「地理の窓」ラインナップ)

地理の窓 東京湾の臨海部の再開発

東京湾の埋め立て地は、かつて工場や倉庫などとして利用されていましたが、都心に近く便利なため、1990年代後半からオフィスビルなどの建設が進みました。近年は、高層マンションの建設も次々に進められ、都心の職場に近いこれらのマンションに引っ越す人も増えています。また、2018年に卸売市場が築地から豊洲へ移転したほか、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの多くの競技会場や選手村も臨海部に建設され、臨海部は再開発によって大きく変わりつつあります。



臨海部の東京オリンピック・パラリンピック選手村建設現場(2018年 東京都中央区)

位置や 広がり

▲ p.235

地理の窓 世界文化遺産と観光都市

京都は年間5000万人以上の観光客を集める観光都市で、外国人宿泊客数も350万人をこえています(2017年)。1994年、京都市・宇治市・大津市にある寺社などの歴史的建造物が「古都京都の文化財」として世界文化遺産に登録されました。京都は第二次世界大戦中も戦災による被害が少なく、今も残る古い街並みや文化財は、日本だけでなく世界から多くの観光客を招き入れています。近年、観光客に人気のある京町家を改装して、宿泊施設として再利用する動きなどもみられます。



外国からの観光客(2016年 京都府京都市)

地域

▲ p.207

地理の窓 … 興味・関心を喚起する、特色あるミニコラム

本文内容からさらに一歩進んで学びを掘り下げ、視点を変えたり視野を広げたりできる内容で、多面的・多角的な見方が身につく学習コラムです。

地理の技 … 生徒に身につけさせたい地図やグラフの扱い方など、まさに“技”を磨き、身につけます。

略地図の描き方、グラフの読み取り方、地形図の読み取り方などは、高校入試などでも役立てることができる技能です。

地理の技 地図やグラフなどの扱い方を学習するコーナーです。

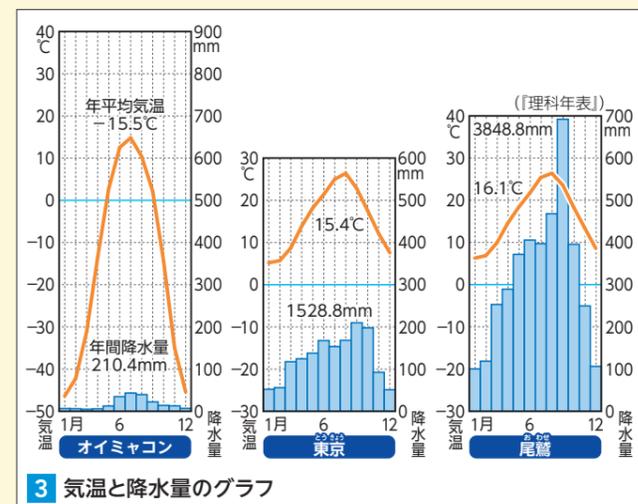
世界の略地図を描いてみよう①	11	統計資料を使ってみよう	17	地形図から断面図をつくろう	141
テープを使って地球儀上で		日本の略地図を描いてみよう	27	新旧の地形図を比べよう	141
方位と距離を確かめよう	14	気温と降水量の			
世界の略地図を描いてみよう②	15	グラフを読み取ろう	31		

▲ p.5 学習コラム(「地理の技」ラインナップ)

地理の技 気温と降水量のグラフを読み取ろう

◆気温と降水量のグラフは、月ごとの平均気温を示した折れ線グラフと、月ごとの平均降水量を示した棒グラフからなっています。気温は左側の目盛り(単位:℃)で、降水量は右側の目盛り(単位:mm)から読み取ります。

- ①平均気温(折れ線グラフ)を読み取ろう。
 - (1) 気温が最も高い月、低い月を確かめる。
 - (2) 一年を通じ、気温が高い時期、低い時期を確かめる。
- ②平均降水量(棒グラフ)を読み取ろう。
 - (1) 降水量が最も多い月、少ない月を確かめる。
 - (2) 一年を通じ、降水量が多い時期、少ない時期を確かめる。
- ③グラフ全体から変化を読み取ろう。例。季節の変化はあるのか、ないのか。
- ④観測した地点がどこにあるのか、地図帳で確かめよう。例。(2か所を比較する場合)どちらがより北に位置しているか。



3 気温と降水量のグラフ

▲ p.31

3 地理的な見方・考え方

◆地理的分野の学習では、次のようなことに気をつけて学習を進めていきましょう。

- ★位置や広がり(分布) 「どこに位置しているか」「どのように広がっているか」
- ★場所 「どのような場所なのか」
- ★自然環境との関わり 「そこで生活することは、まわりの自然環境からどのような影響を受けているか」「そこで生活することは、まわりの自然環境にどのような影響を与えているか」
- ★結びつき 「そこは、他の場所とどのような関係をもっているのか」「なぜ、そのような結びつきをしているのか」
- ★地域 「その地域は、どのような特徴があるのか」「この地域と他の地域ではどこが異なっているのか」「どのような地域にすべきか」

★地理的な見方・考え方

学習を進めていく際には、左に示した、

- ・「位置や広がり」
- ・「場所」
- ・「自然環境との関わり」
- ・「結びつき」
- ・「地域」

を意識しながら学習を進めていきます。

◀ p. IV

2 社会的な課題を多面的・多角的にとらえ、考察することができる教材・内容

生徒が、現代や過去の社会的事象について、資料を的確に活用しながら多面的・多角的に考察することができ、情報を批判的に読み解いて公正に判断する力を養えます。

地理的分野とSDGs (持続可能な開発目標)

世界地誌の学習 (p.47-128) では、章の導入ページで、州ごとの主題とともに、SDGs (持続可能な開発目標) の17の目標と関連する特徴的な地球課題を扱うことを示しています。例えば、北アメリカ州の学習では、導入ページ (p.92-93) で「北アメリカで学習する地球課題」として、「多民族の共存の問題」を取り上げ、該当ページ (p.100, 102-103) を示して導き、SDGsも意識しながら学習がより深まるように工夫しています。

地球課題とSDGs

あなたは、SDGsを知っていますか。SDGsとは、2015年に国連で採択された、2030年までに国連加盟国が達成するために掲げた目標のことです(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)。人間、地球そして繁栄のための行動計画として、次に示した17の目標などで構成されています。

あなたは、SDGsを知っていますか。SDGsとは、2015年に国連で採択された、2030年までに国連加盟国が達成するために掲げた目標のことです(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)。人間、地球そして繁栄のための行動計画として、次に示した17の目標などで構成されています。

◀ p.IV

〈地球課題・ラインナップ〉

- ◇人口問題(アジア州) p.54-55
- ◇環境問題(ヨーロッパ州) p.76-77
- ◇人口・食料問題(アフリカ州) p.87-89
- ◇多民族の共存の問題 (北アメリカ州) p.100,102-103
- ◇環境・都市問題(南アメリカ州) p.111-115
- ◇多民族の共存の問題 (オセアニア州) p.121,123-125

領域をめぐる問題

見開き4ページを配当し、日本の領域に関する基礎的な学習から、北方領土、竹島、尖閣諸島といった日本の領土をめぐる対立や現状についてしっかりと学べるように、多彩な資料と丁寧な記述で理解を深めます。



日本の国土の広がりから

日本の領域の特徴をとらえ、領土・領海・領空の区分など、基礎的な知識をコンパクトに学習します。【p.22】

2 日本の国土の広がり ▶日本の領域はどこまで

領土の広がり ▶日本の領域はどこまで

日本の国土は、ユーラシア大陸と太平洋の間に広がっています。北海道、本州、四国、九州の形状に基く大きな島々と、その周辺の6800あまりの小さな島々によって成り立っています。北海道から沖縄県までの距離はおよそ3000kmで、国土面積は約38万km²です。

日本の国土の特徴として、山が多く平野が少ないことがあげられます。日本列島の中央部には3000m級の高い山々が連なり、南北に細長く伸びた国土の自然は変化に富んでいます。ユーラシア大陸とは近い距離にあるため、古くから活発な交流が行われて

日本の国境をめぐるさまざまな動きを学習します

北方領土、竹島、尖閣諸島については、これまでの動きや現状について豊富な写真資料とともに記述しています。地図についても位置関係がとらえやすいように、日本海を中心に描いたものを掲載しました。【p.25】



領土をめぐる対立については、武力衝突や戦争の原因となることもあります。各国が冷静に問題に向き合い、対立を乗り越えて平和的な解決を目指すことが重要です。

領土をめぐる対立については、武力衝突や戦争の原因となることもあります。各国が冷静に問題に向き合い、対立を乗り越えて平和的な解決を目指すことが重要です。

4 北アメリカ州

北アメリカでは、なぜ先導的で多様な産業が発達したのだろうか。

この章では、産業や国連など、さまざまな面で世界のリーダーとして活躍する北アメリカについて学びます。アメリカ合衆国の社会や経済が、どのような経緯を経て世界をリードするようになったのでしょうか。さまざまな産業が人々を魅了し、北アメリカの特色を学習していきます。

多民族の共存の問題

アメリカ合衆国とカナダは、これまで世界から移民を受け入れ、多様な民族からなる社会をつくり上げてきました。民族や文化の多様性は、独自の新しい文化を生み出すとともに、社会や経済に活力を与えます。一方で、国連加盟以来、これにともなう問題も抱えています。ほかの国でも、差別や格差、少数派の人々の地位の向上など、多民族が共存するために解消しなければならない問題を抱えています。

▲ p.92-93

北アメリカで学習する地球課題 ●多民族の共存の問題

アメリカ合衆国とカナダは、これまで世界から移民を受け入れ、多様な民族からなる社会をつくり上げてきました。民族や文化の多様性は、独自の新しい文化を生み出すとともに、社会や経済に活力を与えます。一方で、国連加盟以来、これにともなう問題も抱えています。ほかの国でも、差別や格差、少数派の人々の地位の向上など、多民族が共存するために解消しなければならない問題を抱えています。

p.100,102-103

EU統合の課題 — 多様性をどう考えるのか

EUは、市場や通貨の統合を進め、現在28か国が加盟しています(2018年)。一方、統合するという目標の中で、労働力移動の自由、大規模な移民の流入により、各国で考え方の違いも出てきています。統合することの難しさを考えてみましょう。

EU統合の課題 — 多様性をどう考えるのか

「EU統合の課題 — 多様性をどう考えるのか」【p.80】

領土をめぐる対立については、武力衝突や戦争の原因となることもあります。各国が冷静に問題に向き合い、対立を乗り越えて平和的な解決を目指すことが重要です。

多面的・多角的な視点からとらえる

例えば「ヨーロッパ州(p.66-81)」では、EUを中心に「国々の結びつき」を扱いますが、一方でイギリスのようなEU離脱 (p.71「地理の窓」) などの動きや一国内に見られる独立運動 (p.80特設ページ) などにも触れました。物事を一面的にとらえるのではなく、情報を批判的に読み解き、多面的・多角的に考察する力が身につくように、各所で工夫を凝らしています。



3 身近な地域から社会を考えることができる教材・内容

地理的分野で大事にしたい「身近な地域の学習」については、生徒自らが地域調査に臨めるような工夫だけでなく、地域の伝統文化を大事にしている事例や、地域で進んでいる多文化共生のすがたを取り上げ、学習を深めていきます。

身近な地域を調査する

「地域調査の方法を学ぼう (p.133-146)」では、防災を主なテーマに地域を調べていきます。班ごとにテーマを決め、資料収集を行い、地域の歴史を探ります。また、地形図の読み取り、新旧の地図の比較やグラフの作成方法などの地理的技能も学びます。一般的な調査過程に沿った記述と、名古屋市をモデルとしたより具体的な記述の二種類で地域調査に取り組みやすいように、生徒の目線に立ったパラレルなストーリーが展開します。

生徒による調査過程を再現する構成・記述

調査活動のモデルケースを示しており、どの地域でも学びやすくなっています。

地域調査の手引き

調査活動に必要な視点と方法については、特に強調して示しています。

1 石井を調べる

2 調査の計画を立てる

3 地域調査の手引き

4 調査の計画を立てる

5 多くの雪を生かした産業

p.136-137

p.226 ▶

5 多くの雪を生かした産業 ▶ 北陸地方の産業と水との関係

北陸地方の産業は、多雪地域という条件をどのように生かしながら発展してきたのでしょうか。

北陸地方の産業と水との関係

北陸地方は世界有数の多雪地域です。冬の間、積雪が厚いことを暮らしに活かすことで、さまざまな産業が生まれています。

積雪が多いことを暮らしに活かすことで、さまざまな産業が生まれています。

雪が多いことを暮らしに活かすことで、さまざまな産業が生まれています。

雪が多いことを暮らしに活かすことで、さまざまな産業が生まれています。

p.226

地域の伝統文化を大事に

地域の伝統文化の現状はもちろん、「なぜ文化が受け継がれてきたのか？」にまで踏み込んで、**地理的分野ならではの伝統文化を丁寧に描き出しています。**

特設ページでは、**アイヌ民族の文化も扱っています。**

多文化共生社会を見つめて

南アメリカ州(p.106-117)では、日系の人々の生活を取り上げています。一方で、日本の中部地方の特設ページ「**多文化共生について考える (p.228)**」では、現代の日系人の暮らしを描きました。関東地方でも国際化に触れています。多文化共生社会に注目したテーマを多く取り入れました。

日系人の花田さんの話

日系人の農家が、1970年代にアマゾン川河口に近いメアスで、環境に負担の少ない農業を始めたことについて。数種類の農作物や樹木を混ぜて植えることで、絶えず収穫があり安定した収入をあげながら、森林を保全する農法で、アグロフォレストリーとよばれています。暮らしを支えるとともに環境を保全する持続可能な農法として注目され、国際協力機構(JICA)も支援しています。アグロフォレストリーで栽培されたカカオを使ったチョコレートは、日本でも発売されているそうです。

地域の人々の声

世界地誌・日本地誌の学習を中心に、そこに暮らす人々の話が織り込まれています。臨場感あふれる内容になっています。

p.113

「多文化共生について考える」 [p.228]

ブラジルから来て日本で暮らす外国人の現状を描いています。

事例地域における調査活動をリアルに表現した、ストーリー展開重視の記述

現代日本の課題を考えよう 中部地方

多文化共生について考える —— 浜松市を例に

日本で暮らす国籍・地域別の外国人数をみると、中国や韓国の人々に次いで、ベトナムやフィリピン、ブラジルの人々が多いことがわかります。ここでは、静岡県浜松市を例に、工業が盛んな中部地方で暮らす外国人の人々を通して、多文化共生について考えていきます。

浜松市の外国人共生の取り組み

浜松市の外国人の総数は2万3000人ほどです(2018年4月)。外国人人口の内訳をみるとブラジル人が約40%を占めています。ブラジル人が多い理由として、自動車・オートバイの輸送用機械などの工場が多く、仕事があることや、ブラジル人向けの店など、ブラジル人が暮らすのに便利な生活環境が整っていることがあげられます。1990年に日本への入国に関する法律が改正され、「日系人」の日本での労働条件が緩和されると、南アメリカから2世・3世を始めた「日系人」の労働者が急増しました。そこには経済的な理由に加え、関係の高い国である日本文化への愛着や関心もみられます。労働者が必要とする製造業が多く立地する浜松市は、主として南アメリカ出身の日系人が暮らす、日本国内の都市によって結成された「外国人居住者協会」の一員です。また、多文化共生の国際連携「インターカルチュラル・シティ・ネットワーク」*にも加盟し、外国人との共生を都市の発展の好機とらえ、さまざまな政策を進めています。

日本で暮らす外国人のいま

2018年末現在、日本に居住する外国人の総数は約273万人で、国内総人口の約2%を占めています。その多くは、仕事を求めて日本へ来ています。以前は、日系ブラジル人など、南アメリカからの入国者が多かったのですが、近年は特にベトナムからの入国者が多くなっています。

今後、多文化共生のために、特定の地域からの入国だけでなく、さまざまな地域の言語文化に対し多様な対応が求められます。バイリンガル支援者を行い、2013年には不就学ゼロを達成しました。市では外国人児童・生徒が多数通学学校にバイリンガル(2か国語を話せる人)の「教員支援員」を配置しています。教員支援員は、常に学校において授業中は子どものそばに付き添い、授業内容を理解できるように母国語でサポートし、学業進捗などの進捗のフォローも行っていきます。そうした学校には教員を多く配置し、個別に指導する「取り出し授業」なども行っています。近年では日本生まれの外国人も増加し、2018年に入学した小学1年生の外国籍児童のうち約7割が日本生まれの日本育ちです。浜松市では日本語教室に加え、母国語教室を開設し、母国語の習得を通して母国の言葉や歴史などに触れられる機会を設けています。

日本語の学習支援を受ける日系ブラジル人の中学生

(2019年 静岡県浜松市)

国籍(出身地)別外国人の割合(左:日本、右:浜松市)

日本 273万人

国籍(出身地)別外国人の割合

中国 26.0%

韓国 16.5%

ベトナム 10.4%

フィリピン 9.9%

ブラジル 7.4%

インドネシア 3.6%

その他 20.6%

ベトナム 10.4%

フィリピン 16.1%

インドネシア 3.6%

その他 20.6%

ベトナム 10.4%

フィリピン 16.1%

インドネシア 3.6%

その他 20.6%

外国人が日本で暮らす場合に、暮らしやすいと感じられるには何が必要か、話し合おう。

*他の地域の外国人の総数や年齢構成なども異なる文化的多様性について、それぞれの機会と暮らしの活力や成長などに生かしていただくことが必要です。*人口統計(平成29年)による。100%となる都市が追加されている(2018年現在)。

228 第3章 日本の諸地域 —— ④中部地方

現代日本の課題を考えよう 北海道地方

アイヌ民族の文化に学ぶ —— 持続可能な社会づくりの視点から

北海道などは、独自の言語や文化をもつ住民族のアイヌの人々が暮らしています。現在の北海道や東北地方の地名の一部にも、アイヌ語に由来するものがあります。アイヌ民族の歴史や文化を再発見し、多文化との共生について考えてみましょう。

アイヌ民族の生活と近代化の歩み

アイヌ民族は「自分たちに役立つもの」や「自分たちの及ばないもの」を「カムイ(神)」として古くから畏敬の対象としてきました。アイヌ語の地名は、北海道全域のほか、釧路(サハリン)や千島列島、東北地方の一部、さけなどの漁業や鹿などの狩猟のほか、山梨などの採集やヒエや粟などの稲穀類の栽培を行うなど、自然環境と共生した生活を営んでいました。また、川や海を移動し、大陸との交易も行っていました。

特に江戸時代以降になると、本州などから移ってきた移住者が流入し、アイヌ民族は農業労働者として動員され、租人も払う必要が生じた。アイヌ民族の人口は減少していき、明治時代に入ると、政府は北海道を本州に同化する同化政策をとったために、森林は次第に伐採され、農地が減少し、アイヌ民族の生活の場は急速に狭まられていきました。その後、同化政策が進み、その一環として、1899年に「北海道土人保護法」が制定されました。また、漁業や狩猟の権利を奪われるなど、生活は圧迫されました。アイヌ語を禁止され、独自の言語や慣習は否定され、その伝承は難しくなりました。しかし1997年、多くの人々の努力により「アイヌ文化復興法」が制定され、「北海道土人保護法」は廃止されました。また、2007年9月の国連総会で「先住民族の権利に関する国連宣言」が20年以上の作業を経て採決されると、2008年には、国連において「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が採択されました。それでもアイヌ民族の奪われた権利が回復されるには、なお多くの努力が必要です。

アイヌ文化の継承と新たな文化のカタチ

現代の日本では、グローバル化や情報化の中で、各地の特色ある伝統文化は失われつつあります。アイヌ語に由来する地名も多くみられます。これまでの地名表示の看板では、漢字で書かれた地名が大きく表示され、アイヌ語の地名は小さく表示されてきた。しかし、現在は同じ大きさで書かれるなど、表示が改善された看板が一部で見られるようになってきています。

さらに、伝統を尊重しつつ、現代のさまざまな文化と融合させていくことも求められています。

アイヌ文化の継承と新たな文化のカタチ

現代の日本では、グローバル化や情報化の中で、各地の特色ある伝統文化は失われつつあります。アイヌ語に由来する地名も多くみられます。これまでの地名表示の看板では、漢字で書かれた地名が大きく表示され、アイヌ語の地名は小さく表示されてきた。しかし、現在は同じ大きさで書かれるなど、表示が改善された看板が一部で見られるようになってきています。

さらに、伝統を尊重しつつ、現代のさまざまな文化と融合させていくことも求められています。

アイヌ文化の継承と新たな文化のカタチ

現代の日本では、グローバル化や情報化の中で、各地の特色ある伝統文化は失われつつあります。アイヌ語に由来する地名も多くみられます。これまでの地名表示の看板では、漢字で書かれた地名が大きく表示され、アイヌ語の地名は小さく表示されてきた。しかし、現在は同じ大きさで書かれるなど、表示が改善された看板が一部で見られるようになってきています。

さらに、伝統を尊重しつつ、現代のさまざまな文化と融合させていくことも求められています。

p.270-271

現代日本の課題を考えよう 中部地方

多文化共生について考える —— 浜松市を例に

日本で暮らす国籍・地域別の外国人数をみると、中国や韓国の人々に次いで、ベトナムやフィリピン、ブラジルの人々が多いことがわかります。ここでは、静岡県浜松市を例に、工業が盛んな中部地方で暮らす外国人の人々を通して、多文化共生について考えていきます。

浜松市の外国人共生の取り組み

浜松市の外国人の総数は2万3000人ほどです(2018年4月)。外国人人口の内訳をみるとブラジル人が約40%を占めています。ブラジル人が多い理由として、自動車・オートバイの輸送用機械などの工場が多く、仕事があることや、ブラジル人向けの店など、ブラジル人が暮らすのに便利な生活環境が整っていることがあげられます。1990年に日本への入国に関する法律が改正され、「日系人」の日本での労働条件が緩和されると、南アメリカから2世・3世を始めた「日系人」の労働者が急増しました。そこには経済的な理由に加え、関係の高い国である日本文化への愛着や関心もみられます。労働者が必要とする製造業が多く立地する浜松市は、主として南アメリカ出身の日系人が暮らす、日本国内の都市によって結成された「外国人居住者協会」の一員です。また、多文化共生の国際連携「インターカルチュラル・シティ・ネットワーク」*にも加盟し、外国人との共生を都市の発展の好機とらえ、さまざまな政策を進めています。

日本で暮らす外国人のいま

2018年末現在、日本に居住する外国人の総数は約273万人で、国内総人口の約2%を占めています。その多くは、仕事を求めて日本へ来ています。以前は、日系ブラジル人など、南アメリカからの入国者が多かったのですが、近年は特にベトナムからの入国者が多くなっています。

今後、多文化共生のために、特定の地域からの入国だけでなく、さまざまな地域の言語文化に対し多様な対応が求められます。バイリンガル支援者を行い、2013年には不就学ゼロを達成しました。市では外国人児童・生徒が多数通学学校にバイリンガル(2か国語を話せる人)の「教員支援員」を配置しています。教員支援員は、常に学校において授業中は子どものそばに付き添い、授業内容を理解できるように母国語でサポートし、学業進捗などの進捗のフォローも行っていきます。そうした学校には教員を多く配置し、個別に指導する「取り出し授業」なども行っています。近年では日本生まれの外国人も増加し、2018年に入学した小学1年生の外国籍児童のうち約7割が日本生まれの日本育ちです。浜松市では日本語教室に加え、母国語教室を開設し、母国語の習得を通して母国の言葉や歴史などに触れられる機会を設けています。

日本語の学習支援を受ける日系ブラジル人の中学生

(2019年 静岡県浜松市)

国籍(出身地)別外国人の割合(左:日本、右:浜松市)

日本 273万人

国籍(出身地)別外国人の割合

中国 26.0%

韓国 16.5%

ベトナム 10.4%

フィリピン 9.9%

ブラジル 7.4%

インドネシア 3.6%

その他 20.6%

ベトナム 10.4%

フィリピン 16.1%

インドネシア 3.6%

その他 20.6%

ベトナム 10.4%

フィリピン 16.1%

インドネシア 3.6%

その他 20.6%

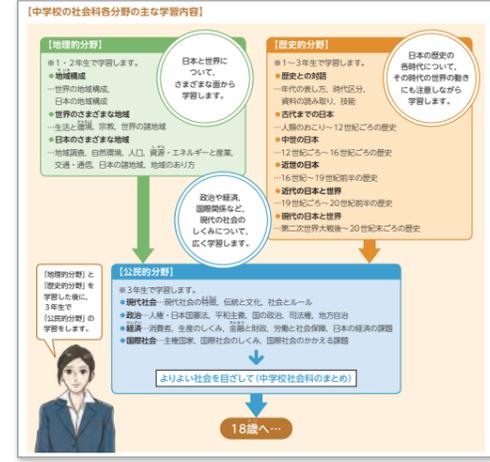
外国人が日本で暮らす場合に、暮らしやすいと感じられるには何が必要か、話し合おう。

*他の地域の外国人の総数や年齢構成なども異なる文化的多様性について、それぞれの機会と暮らしの活力や成長などに生かしていただくことが必要です。*人口統計(平成29年)による。100%となる都市が追加されている(2018年現在)。

228 第3章 日本の諸地域 —— ④中部地方

p.270-271

分野間の関連箇所を示すことで、各分野が異なる「見方・考え方」に基づいていることに気づかせ、さらに深い総合的な理解へと導きます。同じ学習素材でも各分野の観点から学び、最後に社会科として総合して考えることで入試にも役立ちます。



中学校社会科3分野の連携

カリキュラム・マネジメントの観点からも、地理・歴史・公民の各分野の学びは単独ではなく、それらが一体となった社会科の学びとしてとらえられます。左の「**中学校の社会科各分野の主な学習内容(地理的分野p.111)**」を学習の初めに示すことで、3分野が関連し合っ社会科の学習を形成していることが、生徒にも理解できます。

地理

I. 地理的分野で行う「都道府県」の学習が…

【47の都道府県 (p.26-27)】

関連 **歴史** [近代] 廃藩置県、[現代] 沖縄の本土復帰 / **公民** [政治] 地方自治

都道府県 都道府県は日本の行政区画の中心として発展してきた。また、各都道府県には、独自の歴史や文化、産業などがある。地理的分野では、都道府県の位置や名称、気候や地形、産業などについて学習する。歴史的分野では、廃藩置県や沖縄の本土復帰などについて学習する。公民的分野では、地方自治や選挙などについて学習する。

「関連」マークで結びつく、3分野の学習

歴史

II. 歴史的分野の近代の学習と…

「**万機論に決すべし(p.169)**」で、「**廃藩置県**」と…
→富国強兵・殖産興業政策

1871年、諸大名から藩(領地)と藩(領民)を天覧に返上させました。これを「**廃藩置県**」としました。その結果、藩政はなくなり、中央政府の政治が行われることになりました。これは、中央政府の権力を強化するための重要な政策でした。この政策により、中央政府は各藩を直接統治できるようになりました。これは、富国強兵と殖産興業政策を実現するための重要なステップでした。

公民

III. 公民的分野の政治の学習と…

「**変わりゆく地域社会(p.120)**」で「**地方自治**」に結びつく
→身近な地域の政治

地方自治は、住民が自分たちの地域の事務を自ら処理することです。これは、民主主義の重要な原則の一つです。地方自治は、住民の生活に直接関係する多くの問題について、住民自身が意思決定を行うことを可能にします。これは、住民の権利と責任を明確にし、地域の発展と福祉の向上に貢献します。

3分野で、それぞれの視点から取り上げる防災

I. 地理的分野では

近年、特に関心が高まる防災について「**地域調査の方法を学ぼう(p.133-146)**」や「**災害から身を守るために(p.160-161)**」、「**震災の経験を受け継ぎ、未来に生かす(p.256)**」とさらに充実させ多面的に取り扱います。

地理

防災について調べる

地域での調査

防災について調べる

地域での調査

防災について調べる

地域での調査

防災について調べる

地域での調査

防災について調べる

地域での調査

▼ p.161

地理

II. 歴史的分野では

関東大震災を都市の発展と結びつけて扱っています。
→関東大震災、後藤新平、震災復興事業 (p.238)

関東大震災を都市の発展と結びつけて扱っています。関東大震災は、都市の発展と結びつけて扱われています。震災復興事業は、都市の発展と結びつけて扱われています。関東大震災は、都市の発展と結びつけて扱われています。震災復興事業は、都市の発展と結びつけて扱われています。

▼ p.142-143

歴史

歴史的分野 p.238

後藤新平と杉原千蔵

関東大震災と後藤新平

後藤新平と杉原千蔵

関東大震災と後藤新平

▼ 公民的分野 p.218

公民

III. 公民的分野では

東日本大震災やその復興と関連づけて、これからの資源・エネルギー問題について考えを深めることができます。
→化石燃料、再生可能エネルギー (p.218-219)

これからの資源・エネルギー

再生可能エネルギー

化石燃料

2 小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成

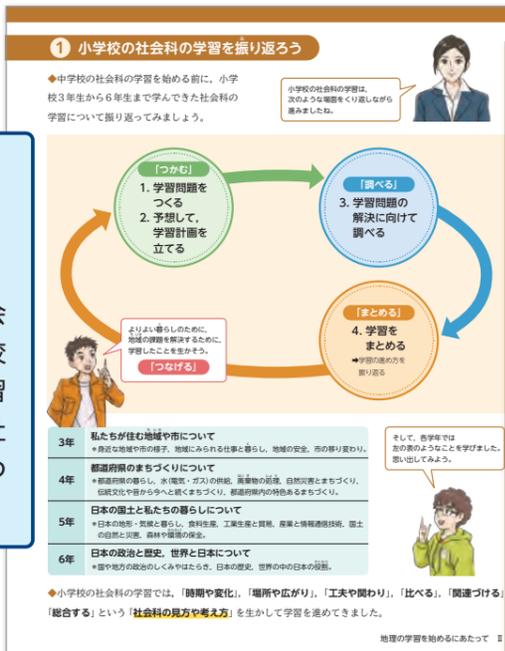
3分野とも、小学校社会の学習を振り返る部分を設けることで小学校の社会科からの円滑な接続を、高等学校へのつながりでは中学校で身に付けなければならない知識・技能がそれぞれ確実に定着できることで、スムーズな接続を図ることができる教科書になっています。

◆小学社会から中学社会への、よりスムーズな連携。

「地理の学習を始めるにあたって(p. I ~ IV)」を設け、新しく始まる中学社会の学習を前に、小学社会の振り返り(p. II)と中学社会の紹介(p. III)をわかりやすく示すことで、生徒の学びの接続を図りました。

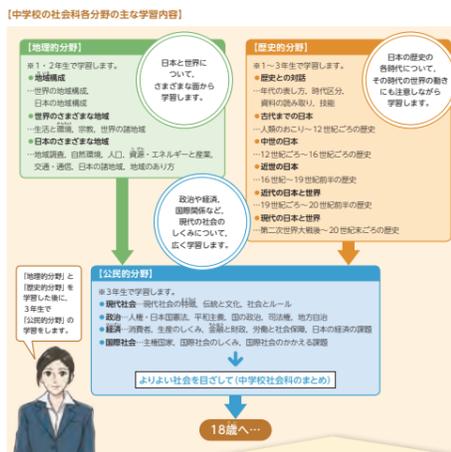
1 「小学校の社会科の学習を振り返ろう」(p. II)

ここでは、小学校の社会科の学習方法や、小学校社会科でどのような学習をしてきたか、そして「社会科の見方・考え方」についても振り返ります。



2 中学校の社会科の学習を知ろう

小学校の社会科の学習は、学年ごとに進んでいきますが、中学校の社会科の学習は、大きく三分野に分かれて授業が進められていくことになります。「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」がその三つです。



「中学校の社会科の学習を知ろう」(p. III)

2 次に、「地理にアプローチ」(p.6 ~ 8)

では、これまで小学校で学んできたことを具体的に振り返ります。地図のきまりや、地図帳の使い方などを復習することから始めます。

→ 地理にアプローチ (地図やグラフを使いこなそう)

1 地図のきまりを思い出そう

2 地図帳を使いこなそう

3 地図上で位置を表そう

3

いよいよ本時の学習です。第1時間目、「身近なものから見える世界(p.10~11)」では、身近なもの(タピオカ)を通して、世界とのつながりを探っていくことから始めます。生徒が地理に苦手意識を抱かないよう、身近な事例から授業に入れるように工夫しました。

第1章 世界の地域構成

1 身近なものから見える世界 地理の学習をスタートしよう

2 日本を中心とした地球(①)、大西洋を中心とした地球(②)

3 地理の技 「世界の略地図を描いてみよう①」

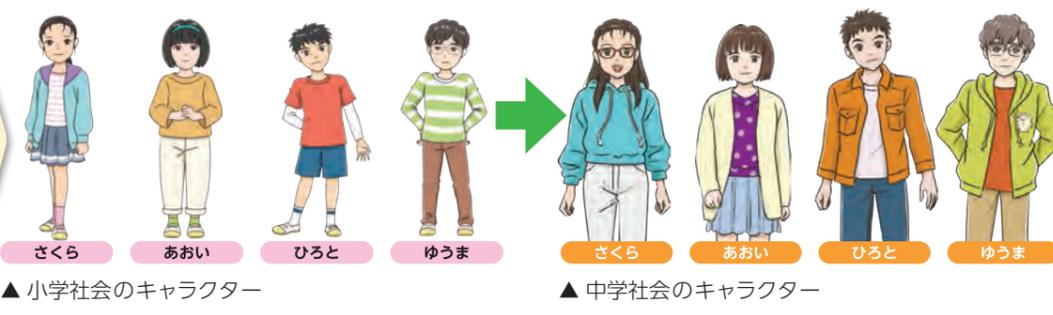
▲ p.10-11

4

小学校の社会科を振り返る作業がそれ以降の学習場面でも出てきます。第1編は、地理的分野のウォーミングアップの役割も兼ねています。

右上: 地理の技 「テープを使って地球儀上で方位と距離を確かめよう」 [p.14]

教育出版「小学社会」のキャラクターが中学生に成長した姿で紙面に登場します。共に学び合う意識が連続するように工夫しています。



◆中学から、高校へ

着実に地理的技能が身につく工夫をし、また高校で重点的に扱わない日本地誌については、特に「日本の諸地域(p.173~272)」に十分なページ数を割いています。

地理の技

テープを使って地球儀上で方位と距離を確かめよう

1 地球儀を使って方位を確かめる

2 地球儀を使って距離を確かめる

▲ p.281

◆私たちは、世界や日本の諸地域について学び、人口減少や少子高齢化などの課題を解決する方法を考えてきました。そして、「地域の課題は日本全体の課題でもある」とことや、「世界や日本で起きていることが地域の課題と関係がある」とことを学びました。

3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫

すべての生徒にとって使いやすく、自ら学びに向かう力を喚起するさまざまな工夫を施しており、グループでの学習はもちろん、一人でも学びを深めることができる教科書です。

本時ページ以外にも、記述を補い、生徒の興味・関心を引きつける豊富な写真・図版などからなる資料ページがあります。これらを活用することで、さらに地理の学習を深めることができます。

「宇宙からとらえた日本列島」【p.130-131】日本全体の地形を俯瞰するとともに、「伊能忠敬の日本地図」とあわせて歴史学習との関連も図れます。



世界と日本の学習のあいだの折り込み資料

8ページに渡る、大きく広げることができる、資料性の高いグラビアページです。世界・日本両方の学習に役立てることができます。



「オリンピックはどこで開かれるのだろう」【p.129】話題性のある世界の夏季・冬季のオリンピックの開催地を、世界地図から確認できます。

「宇宙からとらえた地球」世界の地形を表現した地図、世界の夜間の様子を表現した地図、ともに本文と連動させて活用できる資料です。

「日本にはどんな世界遺産があるのだろう」【p.132】日本での登録が続く世界遺産について、すべての事例を掲載しています。

用語解説

●グローブ（p.42, 115）
地球を表現する球状の模型。地球儀の縮小版として、授業で活用できる。また、地球儀の構造や、地球儀の歴史についても解説されている。

●伊能忠敬の日本地図（p.130, 131）
江戸時代後期の測量士・伊能忠敬が作成した日本地図。当時の測量技術や、伊能忠敬の測量活動についても解説されている。

●伊能忠敬の測量活動（p.130, 131）
伊能忠敬が測量活動を行った経路や、測量活動の目的についても解説されている。

●伊能忠敬の測量活動の意義（p.130, 131）
伊能忠敬の測量活動が日本の地理学や測量学に与えた影響についても解説されている。

●伊能忠敬の測量活動の歴史（p.130, 131）
伊能忠敬の測量活動の歴史についても解説されている。

●伊能忠敬の測量活動の意義（p.130, 131）
伊能忠敬の測量活動が日本の地理学や測量学に与えた影響についても解説されている。

●伊能忠敬の測量活動の歴史（p.130, 131）
伊能忠敬の測量活動の歴史についても解説されている。

世界の国々のあらし

国名	面積	人口	GDP	主要言語	主要都市	主要産業
1 アメリカ合衆国	9,833,517	331,000,000	21,495,000,000	英語	ワシントン	サービス業
2 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
3 インド	3,287,263	1,380,000,000	3,000,000,000	ヒンディー語	ニューデリー	サービス業
4 ロシア	17,095,200	146,000,000	15,000,000,000	ロシア語	モスクワ	資源産出
5 ブラジル	8,511,965	215,000,000	15,000,000,000	ポルトガル語	ブラジリア	サービス業
6 カナダ	9,984,670	38,000,000	17,000,000,000	英語	オタワ	サービス業
7 フランス	643,801	67,000,000	28,000,000,000	フランス語	パリ	サービス業
8 イギリス	244,820	63,000,000	28,000,000,000	英語	ロンドン	サービス業
9 ドイツ	357,021	82,000,000	39,000,000,000	ドイツ語	ベルリン	サービス業
10 イタリア	301,330	60,000,000	19,000,000,000	イタリア語	ローマ	サービス業
11 韓国	100,431	51,000,000	16,000,000,000	韓国語	ソウル	サービス業
12 日本	377,975	126,000,000	5,000,000,000	日本語	東京	サービス業
13 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
14 韓国	100,431	51,000,000	16,000,000,000	韓国語	ソウル	サービス業
15 台湾	36,192	23,000,000	5,000,000,000	台湾語	台北	サービス業
16 香港	2,754	7,000,000	2,000,000,000	英語	香港	サービス業
17 澳門	29,460	600,000	2,000,000,000	ポルトガル語	マカオ	サービス業
18 韓国	100,431	51,000,000	16,000,000,000	韓国語	ソウル	サービス業
19 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
20 韓国	100,431	51,000,000	16,000,000,000	韓国語	ソウル	サービス業
21 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
22 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
23 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
24 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
25 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
26 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
27 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
28 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
29 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業
30 中国	9,700,000	1,400,000,000	14,700,000,000	中国語	北京	製造業

▲ p.282

▲ p.288

▼ p.28-29

巻末の、充実の用語解説と世界と日本の統計資料。難解な用語や補足説明の必要な箇所には巻末に丁寧な用語解説を付けました。統計資料も世界・日本をそれぞれ掲載しています。

「世界の国々のあらし」【p.288-289】と、「日本の都道府県のあらし」【p.290-291】も掲載しています。

第2編 世界のさまざまな地域

第1章 世界の人々の生活と環境

この章では、世界の人々の生活と環境について学びます。世界各地の文化や生活様式、環境問題について詳しく解説されています。

● 世界の文化と生活様式
● 環境問題と持続可能な開発
● 世界の気候と気象

この章には、世界各地の写真やイラストが豊富に掲載されています。また、学習に役立つ情報が満載です。

インターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」

章・節の扉ページに「まなびリンク」を設けました。教育出版のウェブサイトから、学習に役立つさまざまな情報にアクセスすることができます。※無料で利用できますが、通信料がかかります。また、端末の操作やインターネットの利用のルール、情報リテラシーについては適宜ご指導ください。

例えば、吹き出し中の読みやすい改行の工夫。

地球儀が傾いているのはなぜだろう。

特別支援やユニバーサルデザインの視点を大切にしたい教科書づくり

教育のユニバーサルデザインの実現にむけ、埼玉大学の名越斉子先生に社会科全体を監修していただきました。より多くの生徒が学びやすいように、レイアウトや配色、書体などの表現を工夫しています。

学習に役立つさまざまな情報を、ウェブサイトで見ることができます。

<https://www.kyokushuppan.co.jp/ml-jh/chiri.html#02>

【中学社会】まなびリンク

地理、歴史、公民の学習に役立つ情報を提供しています。

● 地理
● 歴史
● 公民

中学社会 地理 地域にまなび

世界と日本の地理について詳しく解説しています。

● 世界と日本の地理概観
● 世界の気候と気象
● 日本の気候と気象

図やグラフなど、教科書中の表現には、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。

本文や注など、教科書中の文章には、見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

授業を支える教師用指導書と周辺教材のご紹介

◆教師用指導書◆ ※セット内容：総論・評価編（CD-ROM付）、学習指導編。

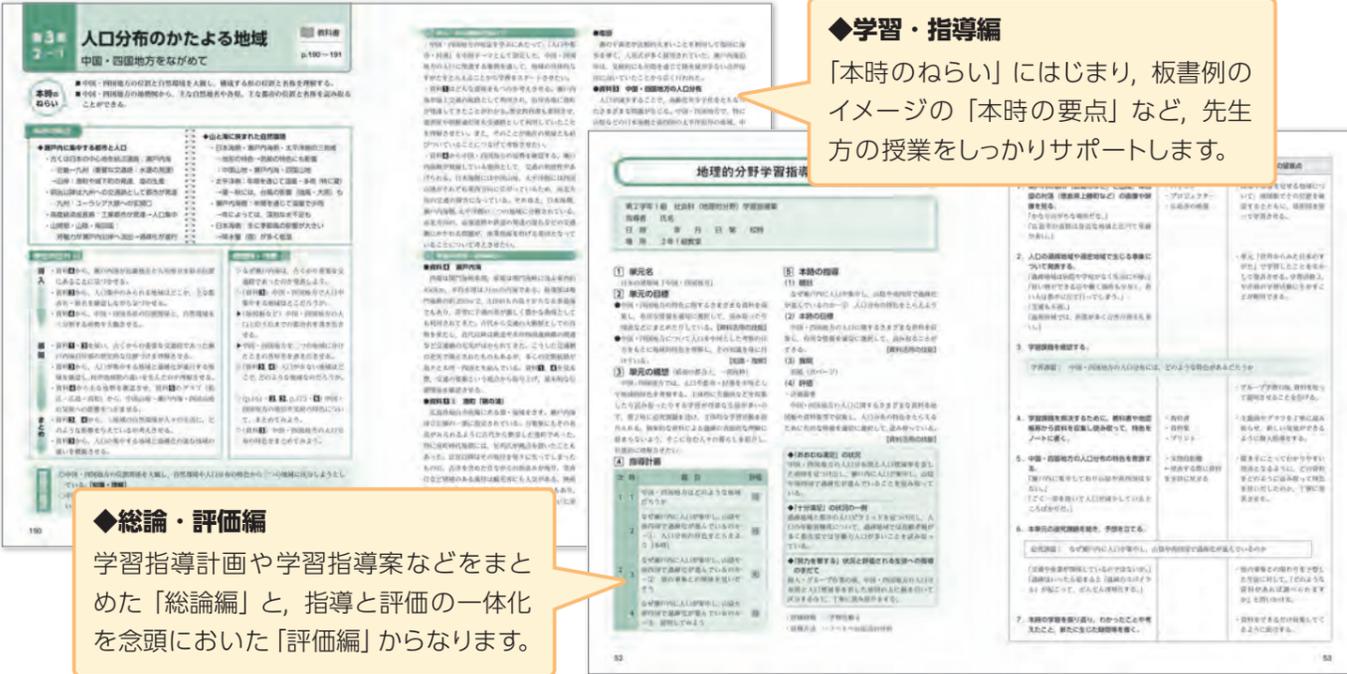
- ★授業の流れがイメージでき、必要かつ十分なポイントをまとめた指導用マニュアルです。
- ★指導と評価の一体化を目指し、学習のねらいと指導の展開、評価の関連性を強化・拡充しました。
- ★これまでの授業実践の成果を取り入れて、先生方と生徒のコミュニケーションの活性化が図られるよう工夫しました。

CD-ROM

- ① 年間学習指導計画・評価計画：ワード、エクセル、一太郎のファイル形式にて収録しています。
- ② 学力向上のための単元テスト：基礎・基本的な問題から、発展的な問題までさまざまな観点に配慮した問題群で構成されています。一太郎・ワードで作成され、リライトなどにも対応します。
- ③ その他：白地図データ、教科書掲載図版モノクロデータなど、授業に役立つ資料が満載です。

◆学習・指導編

「本時のねらい」にはじまり、板書例のイメージの「本時の要点」など、先生方の授業をしっかりサポートします。



◆総論・評価編

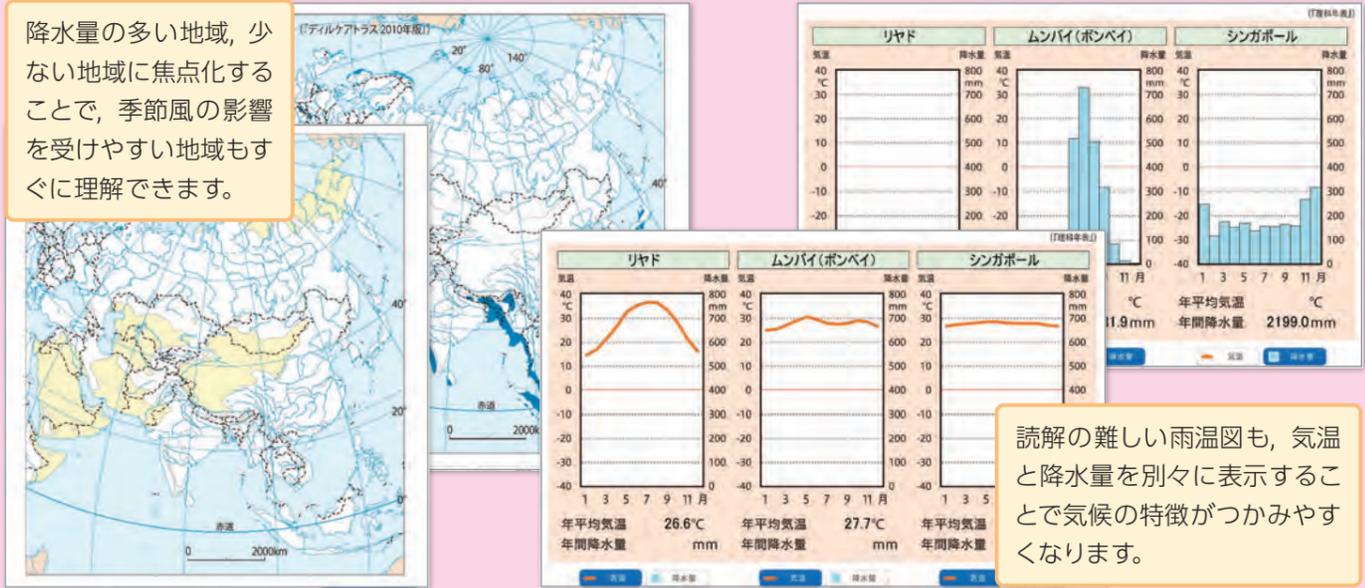
学習指導計画や学習指導案などをまとめた「総論編」と、指導と評価の一体化を念頭においた「評価編」からなります。

◆単元テストの例(地理的分野)

基礎・基本的な問題や標準的な問題だけでなく、入試を見据えた記述型の問題や、資料を活用させて考えさせるような発展的問題も含まれる単元ごとの問題集です。

問題	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

降水量の多い地域、少ない地域に焦点化することで、季節風の影響を受けやすい地域もすぐに理解できます。



読解の難しい雨温図も、気温と降水量を別々に表示することで気候の特徴がつかみやすくなります。

◆学習者用デジタル教科書◆

- *拡大表示機能、書き込みなどの機能に加え、学習者支援機能も充実。
- ★拡大、ページ送り戻り、ペン/消しゴム
- ★学習者支援機能
自動音声読み上げ 総ルビ(ふりがな) 分かち書き リフロー(たて書き/よこ書き変更、書体変更、文字サイズ変更、色変更、行間変更)

- 拡大
- ページ送り戻り
- ペン/消しゴム



- ◆拡大教科書◆ 教科書の文字を拡大し、写真や資料の配置を再レイアウトしています。
- ◆教育出版ウェブサイト◆ 授業に役立つ最新の資料などが容易に入手できます。
- ◆中学社会通信「Socio Express」◆ 毎年春と秋に発行する、弊社と学校を結ぶ小冊子です。

※このページで、ご紹介した商品の内容は変更になる場合がございます。

教育出版（17教出）
中学社会 地理
教科書番号

地理
702

歴史
706

公民
902

- 竹内 裕一 千葉大学教授
- 池 俊介 早稲田大学教育・総合科学学術院教授
- 井上明日香 神奈川県立川崎高等学校教諭
- 大谷 正敏 前静岡県浜松市立曳馬中学校校長
- 大野 新 大東文化大学特任教授
- 小野寺 淳 横浜市立大学教授
- 小野 有五 北海道大学名誉教授
- 加藤 幸治 国土館大学教授
- 加藤 好一 前琉球大学教授
- 釜田 聡 上越教育大学教授
- 菊池美千世 お茶の水女子大学附属高等学校副校長
- 熊谷 圭知 お茶の水女子大学教授
- 佐藤 崇徳 沼津工業高等専門学校教授
- 澤田 結基 福山市立大学准教授
- 重松 克也 横浜国立大学教授
- 末吉由佳理 桜蔭中・高等学校教諭
- 武田 竜一 東京大学教育学部附属中等教育学校教諭
- 土屋 直人 岩手大学准教授
- 寺本 潔 玉川大学教授
- 長尾 彰夫 前大阪教育大学学長
- 長尾 謙吉 専修大学教授／大阪市立大学名誉教授
- 藤本 将人 宮崎大学准教授
- 前島 和樹 前神奈川県川崎市立東橋中学校校長
- 宮園 衛 新潟大学教授

教育出版株式会社編集局

- 特別支援教育監修 名越 斉子 埼玉大学教授
- SDGsとESDに関する校閲 手島 利夫 前東京都江東区立八名川小学校校長

新しい教科書の特設サイトはこちらから！



教育出版ホームページからもアクセスできます。

本社・支社・営業所

本社	〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館	TEL. 03-5579-6278	FAX. 03-5579-6444
北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F	TEL. 011-231-3445	FAX. 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F	TEL. 0138-51-0886	FAX. 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F	TEL. 022-227-0391	FAX. 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F	TEL. 052-262-0821	FAX. 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F	TEL. 06-6261-9221	FAX. 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F	TEL. 082-249-6033	FAX. 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F	TEL. 089-943-7193	FAX. 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室	TEL. 092-433-5100	FAX. 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F	TEL. 098-859-1411	FAX. 098-859-1411

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

